

①の選手が  の斜線までドリブルで目指すのに①と②のコースをとる選手が多いです。このコースを抜けていくドリブルができることはすごくすごいことだから自信を持って良いと子ども達にも伝えています。

でも、今回の試合のようにコートが広い場合はA、BをかわしてCの選手をかわすのに時間がかかってしまい、E、Dの選手が戻ってきてしまい追いつかれるというシーンが多くなっていました。

試合の時に③のコースを選んだらどうだろう？と子ども達には伝えましたがわかってはいるけど、なかなかプレーに出すことは難しかったようです。

この全てのコースを状況によって使い分けられるようになりたいねと話し、子ども達と今練習しています。

